

実務で直ぐに活用できる!!

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

LIVE配信 アーカイブ配信	<h2>技術・研究開発部門における 実践的マネジメントとそのポイント</h2> <p>～リーダーシップ・人材育成からコミュニケーションスキルまで～</p>
7日間何度でも 視聴可能	

- ◆日時：2024年12月12日(木) 10:00～17:00 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
- ◆会場：WEB受講のみ (Zoomシステム)
ライブ配信/アーカイブ配信(7日間、何度でも視聴可) ◆受講資料：電子テキスト(受講料に含)
※当日の出席・欠席の有無は問いません

**効果的リーダーシップ、コア技術の醸成法、ベンチマーキングスキル、
ビジョンとロードマップの作り方、部下の特性のつかみ方、モチベーションアップスキル、
実務で直ぐに活用できるよう、実践的に分かりやすく解説する特別セミナー!!**

【講師の言葉】

講師は、これまで33年間企業の研究所に勤務し、製品化プロジェクトをはじめとする様々なマネジメント経験を経て、これら一連のマネジメントスキルを体得してきました。その後、大学に移り、技術マネジメントに関する教育・研究を行ってきました。

このような背景をベースに、技術・研究開発部門のマネジメントノウハウを一つのセミナー講座としてまとめました。企業の技術・研究開発部門におけるリーダーの使命は、チームを統率し、もっている技術をコアとして、それをビジネスのつなげることといえます。

本セミナーでは、自身の経験に基づき、技術・研究開発特有の実践的マネジメントスキルを、部下のモチベーションをアップするリーダーシップや人材育成の観点を中心に体系的に習得いただけるよう解説致します。特に、自分が組織のリーダーになったら、まず何をすればいいかをはじめ、具体的な動き方について、さらには、リーダーが持つべきコミュニケーションスキルについて、わかりやすくお話しします。

毎回好評を頂いているセミナーですので、現役のエンジニアの方、あるいは、これからリーダーとなられる予定の方々に、是非ともご参加頂きますようご案内申し上げます。

【受講形式】 WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。

【受講対象】 機械、電機、ソフトウェア、自動車、化学、医薬、食品、建設等、
製造業の技術・研究・設計・製造・企画部門のご担当の方々を対象としています。

【予備知識】 特に必要ありません

- 【習得知識】**
- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1) 効果的リーダーシップスキル | 2) 強いコア技術の醸成法 |
| 3) ベンチマーキングスキル | 4) ビジョンとロードマップの作り方 |
| 5) 部下の特性のつかみ方 | 6) 部下のモチベーションアップスキル |
| 7) 論理的な話し方 | 8) 説得力のあるコミュニケーションスキル |
| 9) コーチングスキル | 10) ファシリテーションスキル など |

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先  **TH企画 セミナーセンター**
株式会社 TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4-5-1 11-5F

TEL: 03-6435-1138

FAX: 03-6435-3685

E-mail: th@thplan.com

TH企画 → 1212 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<https://www.thplan.com/>

◆ プログラム ◆

【講師】 東京農工大学大学院工学府産業技術専攻 名誉教授 北原 義典 先生

工学博士
元 (株)日立製作所 中央研究所主管研究員

1. 技術・研究開発部門マネジメントのポイント

- ・ 勤労意欲の本質
- ・ 技術・研究開発現場で求められるリーダーと必要スキル
- ・ リーダーには二通りのタイプがある
- ・ 模倣困難性の条件
- ・ コアコンピタンスとしての技術の育て方
- ・ プロジェクト的組織の重要性
- ・ 差別化戦略
- ・ 課題指向的アプローチの重要性
- ・ 技術を見える形にする
- ・ ベンチマーキング
- ・ 定量化しにくい量も数字で表す

2. リーダーシップスキル

- ・ リーダーシップスタイルを知っておく
- ・ これからの変革型リーダーシップ
- ・ 自分が組織やプロジェクトのリーダーになったら
- ・ ビジョン、ロードマップの重要性と作り方
- ・ 組織内体制の構築の仕方
- ・ 部下の強み弱みをつかむ
- ・ 実行計画の策定方法
- ・ 進捗管理のポイント
- ・ テレワークでのプロジェクトマネジメント
- ・ 組織の規模とマネジメント
- ・ 部下の評価方法

3. 人材育成スキル

- ・ 人材育成の目的
- ・ 技術・研究開発部門人材育成のポイント
- ・ 指示・命令の仕方
- ・ 権限の委譲
- ・ 部下の褒め方と叱り方
- ・ 技術・研究開発部門現場で求められる人材
- ・ 年上の部下とかなり年下の部下

4. リーダーのもつべきコミュニケーションスキル

- ・ 組織運営とコミュニケーションスキル
- ・ 伝わるコミュニケーションの構造
- ・ モチベーションを高めるコミュニケーションスキル
- ・ 論理的に話すスキルを身につけるにはこうする
- ・ 部下をやる気にさせる言葉とやる気をそぐ言葉
- ・ コーチングスキルを身につける
- ・ 議論をさばくファシリテーションスキルを身につける
- ・ 論点の把握
- ・ 発言の引き出し
- ・ 対立の制御
- ・ 議論の方向づけ
- ・ 結論導出
- ・ 聴衆の前で話す
- ・ あがらない方法
- ・ 説得力のある顔の動かし方
- ・ 単調にならないために

質疑・応答

- 【受講者の声】**
- ・ マネジメントスキルの後半部分がかなり勉強になりました。前半部分は組織のプロジェクトの話で、品質保証をやっている私の業務から少し離れていましたが、勉強になりました。
 - ・ 現在のコミュニケーションに関する課題と今まで実施してきたことの後押し、又は改善点等を確認することができた。原則、実践ともよくわかりました。ツールの具体的な使い方にも新しい発見がありました。
 - ・ 部門のビジョンを立てて目標と施策へ落とし込むことや、人の活かし方について参考になりました。ロールプレイに参加できたことも実践的で良かったと思います。
 - ・ リーダーが身につけるべきマネジメントが体系的に学べて良かった。冒頭の実験の紹介で、作業員の生産性向上には、環境や待遇ではなくモチベーションが影響する、ということが非常に参考になった。リーダーに必要なビジョンと、同僚のモチベーション向上を意識して、業務に取り組もうと思った。
 - ・ リーダーに求められるコミュニケーション方法やプレゼンテーションの仕方など、同じことをちょっと工夫するだけで見え方がこんなに違うものなのかと驚かされる内容が多かった。

●申込書 ・2024年12月12日(木)「技術・研究開発部門における実践的マネジメントとそのポイント」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄